

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・高額商品は相変わらず不振であるが、セール品や品質に比べて割安な商品は、予想以上に売れている。数か月前はすべての商品の売上が不振であったことと比較すると、悪いながらも一筋の光は見えている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・タスポ効果による全体の売上の増加傾向が、現在も継続している。
		コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・タスポの導入に伴うコンビニでの買物増加は続いており、コンビニ業界としては上向きである。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・8月前半までは暑かったため、エアコンがよく売れている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・パソコンの販売台数が増加してきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・暑い日が多く、夜のビアガーデンの客が増えている。また、お盆の帰省客による利用も、例年よりも増えている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・東海北陸自動車道が全開通したこともあり、夏休みの入場者数が増えている。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・猛暑のためか、夏物の動きが例年になく良い。加えて、帰省や国内旅行の増加もあり、売上は前年よりも5%ほど増えている。ただし、客単価は依然として低い。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・ガソリン価格の高騰など悪いニュースが多いが、販売量は特に落ちていない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・暑さのお陰で、飲料の売上が増加している。しかし、飲料は低価格で利益率も小さいため、収益は横ばいである。また、月末は、集中豪雨の影響で、売上が急減している。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	来客数の動き	・引き続き新規客が減少しており、常連客の来店間隔も長くなっている。
		百貨店（企画担当）	競争相手の様子	・来客数や購買客数は、減少していない。しかし、低価格志向は変わっておらず、売上は伸び悩んでいる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・残暑が厳しいためか外出控えもあり、来客数は引き続き前年割れとなっている。バーゲン品の売上も良くない。
		百貨店（婦人服販売担当）	お客様の様子	・客の購買意欲は低迷したままである。セール品の動きも例年に比べて悪く、客単価は前年比で80%ほどである。客が衣料品に掛ける金額は、どんどん少なくなっている。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・来客数は、前年同月比92%である。お盆以降の落ち込みが激しい。
		コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・お盆明けの売上が伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・夏物のセールが落ち着き、秋物に移ってきている。しかし、売行きは例年とほとんど変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ガソリン価格の高止まりなどの影響により、販売量は引き続き減少している。
		その他小売〔水産物卸売〕（経理担当）	販売量の動き	・低迷が続いている。多少動きがあっても、月全体でトータルすると変わらない。
一般レストラン（経営者）		来客数の動き	・ランチタイムの来客数は、若干増加している。しかし、ランチタイム後の来客数が減っている。	
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・個人客の減少を見越して団体客の集客に努めた結果、宿泊客数、宿泊宴会件数は、前年よりも増加している。しかし、一般宴会と婚礼が極端に悪く、全体では前年と変わっていない。		
都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・1月以降、宿泊、レストランの売上は、前年割れが続いている。宿泊客は、例年ならばお盆期間中は増えるが、今年は弱い。レストランは、週末の売上も良くない。		
都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・ガソリンや食品の価格高騰に伴い、客の節約志向が目立っている。来客数は、減少傾向が続いている。		

	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・春休みと比べて、この夏休みは海外旅行が減少している。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・原油価格は一時期よりは値下がりしているが、ガソリン価格や燃油サーチャージにはまだ反映されておらず、厳しい状態が続いている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・繁華街の人出は減少しており、タクシー業界の状況も相変わらず良くない。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・前半は猛暑になり、来場者数は伸び悩んでいる。ただし、高地にあるゴルフ場では、目標の来場者数を確保できている。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔工務店〕（経営者）	販売量の動き	・売地が出ないため、住宅販売につながっていない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街の人通りは例年と変わっていないが、来客数は減少している。その場で食べる安価な商品はそれなりに売れるが、家族へのお土産としての買物が全く無い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・株値の低迷と諸物価高騰の影響か、今まで余裕があった世帯の購買量も減少している。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	単価の動き	・海外旅行が敬遠されたためか、観光客数は変わらない。しかし、客単価が1割ほど低下している。マイカー利用者は、1台に乗り合わせて、ガソリン代を節約している。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑が続いたが、来客数はそれほど減少していない。ただし、買物というよりは涼みに来たような客が多く、飲料以外は売れていない。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響か、お盆のお供え用の花は例年通りの売行きである。しかし、お盆明けはさほど動いておらず、8月の販売量はやや減少している。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・酒類を卸している飲食店では、来客数の減少が続いている。経営不振のため閉店する店も、引き続き出ている。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・客の状況を見ると、高くても良い商品を購入する客と割安な商品を購入する客に、二極化している。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・観光客や帰省客で、人出は増えている。しかし、例年ならば来店したら何か買うという客が多かったが、今年は非常にシビアである。土産物でさえ、買い控えている様子である。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・天候に恵まれたにもかかわらず、売上は増えていない。野菜、果物、鮮魚の売上は、相変わらず悪い。企業も家庭も節約ムードであり、経費削減に努力している。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・ガソリンや食品の値上がりにより、客は買い控えている。売上は減少している。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・果物等の売行きが悪くなっている。客は安いと思ったら買ってくれるが、そのような商品はなかなか無い。
	スーパー（店長）	単価の動き	・以前と比べて、大型商品の動きが悪くなっている。小さな物を無駄なく購入している様子である。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価は横ばいであるが、来客数が3%減少している。
	スーパー（営業担当）	販売量の動き	・販売量は、前年と比べて落ち込んでいる。ガソリンを始め諸物価の高騰の影響により、必要最低限しか消費しない傾向が続いている。
	スーパー（仕入担当）	お客様の様子	・値上がりした油の利用を避けるため、総菜の揚げ物や寿司などの好調が続いている。しかし全体的には、オリンピック観戦のためか、土日の来客数が日中、夜間共に減少した影響が大きい。
コンビニ（経営者）	それ以外	・売上の前年比は若干のプラスとなっているが、仕入単価が上昇しているため、粗利率は悪化している。客の購入意欲は冷え切っているため、販売価格に転嫁することもできず、苦しい状況である。	
コンビニ（店長）	単価の動き	・客は計画的な買物をしており、衝動買いが減少している。	

コンビニ（店長）	販売量の動き	・たばこの売上は、6月のタスポ導入以降、多少増加している。しかし、たばこ以外の商品の売上は減少している。	
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・取引のある衣料品販売店の8割ほどでは、売上が減少傾向にあると聞いている。	
衣料品専門店（企画担当）	お客様の様子	・夏物のセール商品、初秋物共に、動きは良くない。これまで秋物を先取りしていた客も、買わなくなっている。	
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・北京オリンピックがお盆休みに重なり来客数が減ったことに加えて、ガソリン価格の高騰による車離れがある。購入を検討している客も、今までとは比較にならないほど、慎重な検討をしている。	
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・燃費が悪い車を多く扱っているためか、とにかく売れない状況である。	
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は、前年と比べて大幅に減少している。ガソリン価格の高騰もあり、客はかなり慎重になっている。営業で客先を回っても、販売にはなかなか結び付かない。	
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新規の客が激減している。既存客との会話でも、話題はガソリン代のことばかりである。車が不可欠な地域であるが、車の利用を控える動きがある。	
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・新築住宅、民間のオフィスビル、公共工事共に、新築件数は減少している。	
その他専門店【貴金属】（店長）	単価の動き	・高額商品の売上が増加していないため、客単価は大幅に低下している。目標を達成できていない状況である。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・北京オリンピックの影響で、夜の来客数が極端に減少している。	
一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・来客数は、明らかに減少している。月7、8回は来店していた客が、2、3回になっている。給与が増えていないなかでの諸物価の高騰と、飲酒運転の取締強化が影響している。	
スナック（経営者）	来客数の動き	・北京オリンピックと月末の豪雨の影響により、繁華街の人通りが減少し、売上も減少している。	
その他飲食【仕出し】（経営者）	単価の動き	・3か月前ほどから、すべての原材料の価格が高騰したことにより、経営を圧迫している。	
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊客数及び昼食、夕食の予約件数は、週ごとでみた前年同期比ですべて減少している。	
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・同業者全体でみても客の動きは鈍く、当ホテルの宿泊客数も減少している。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ガソリン価格高騰の影響もあり、宿泊旅行が減り日帰り旅行が増加しているため、売上は増えていない。	
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・来客数は激減している。秋以降のパンフレットを店頭に並べているが、国内、海外共に申込みは少ない。特に海外旅行は、燃油サーチャージや旅行代金の値上げのため、特典を付けても敬遠されている。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数の減少と解約数の増加が、ますます顕著になっている。	
通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・客は、あくまで価格重視である。通信速度が速く安定している光回線よりも、安価なADSLサービスを選択する客が多い。	
ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来場者数は、前年同月比で10%ほど減少している。諸物価の高騰により、ゴルフどころではないという人が増えている。	
美容室（経営者）	お客様の様子	・客との会話では、ガソリンを始めとする諸物価の高騰の話題ばかりである。	
理容室（経営者）	お客様の様子	・客は夏休みでも遠くに行っていない様子で、景気の良い話は聞かれない。	
住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・鉄を始めとする材料の価格が高騰しており、経営は厳しくなっている。	
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・7月以降、販売量は急減している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年ならば8月は販売量が増加する月であるが、今年は来客数、販売量、客単価共に悪い。売上は極端に落ち込んでいる。

商店街（代表者）	お客様の様子	・諸物価の高騰により、耐久消費財の購入にお金が回っていない。	
一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・中元商品の単価が低下している。百貨店ギフトでは、早期割引や送料サービスの利用が増加している。その一方で、割引率が高い量販店での販売量が伸びている。	
一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低下している。	
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・例年ならば8月は土日の来客数が多いが、今年はオリンピックのためか、土日でも平日のように静かである。来店しても購入しない客も多く、売上は良くない。	
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・秋物の時期であるが、一部の客を除くと非常にシビアである。欲しくても、今は必要ないと判断されてしまう。	
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・売場は正価商品主体に移行しているが、客は小スペースで継続しているセールコーナーに流れている。秋冬の新作の動きは非常に悪く、月末に涼しくなって多少動きは出てきたものの、低単価商品しか売れていない。	
百貨店（外商担当）	来客数の動き	・北京オリンピックと猛暑の影響で、来客数、売上共に前年と比べて大きく減少している。	
スーパー（店長）	単価の動き	・今月の客単価は前年同月比98%前後と、急速に低下している。ガソリン価格の高騰の影響が大きく、家計や企業の経営を圧迫している。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客単価が低下していることに加えて、来客数の減少が、売上の減少に大きく影響している。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・生活必需品の値上がりにより、客の購買意欲が低下していることに加え、連日の猛暑によって来客数は極端に減少している。	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・お盆過ぎから単価が10%ほど低下しており、販売量も減少している。ガソリンを始め諸物価が上昇しているにもかかわらず、給料が増えていないため、買い控えが顕著になっている。	
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・月後半の天候不順の影響もあるが、販売量は例年と比べて激減している。	
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は、前年同月比90%となっている。お盆明けにマイナーチェンジの新車発表会を2週連続で実施したにもかかわらず、土日でも店舗の盛り上がりは全く感じられない。	
その他専門店〔雑貨〕（店員）	競争相手の様子	・競合店では、縮小や撤退、倒産が相次いでいる。	
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・平日も休日も、ディナータイムの来客数が大幅に減少している。	
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・これまで月2、3回は来店していた客が、1回来るか来ないかになっている。	
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数が大きく減少している。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・暑さが厳しく、客の動きは鈍くなっている。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告を出しても、客は来ない。	
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・住宅建築の受注不振が続いている。倒産や給与支払いの遅延の発生が増加している。	
住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・以前は見込み客が4、5件はあったが、今月は2件ほどしかない。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
	変わらない	-	-
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・製造は引き続きあまり良くない。その一方で、修理の依頼件数は増加している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注面、価格面で、特に変化はみられない。

やや悪くなっている	輸送業（エリア担当）	競争相手の様子	・運輸業界では、燃料サーチャージの徴収を始めている。しかし客は、原油高による影響は運輸業界だけではないと、受け入れに難色を示している。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・ガソリン価格の高止まりにより、相変わらず経費がかさんでいる。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・企業からの広告発注件数は、増加も減少もなく、横ばいである。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・紙の原材料が値上げされた影響により、受注量、販売量共に減少しており、採算が取れない状況である。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の多くの業種で、仕入原価が上昇している。しかし、販売価格に転嫁できず、経営を圧迫している。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売価格を引き上げたため、受注量が減少している。
	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・取引先の8割以上で、稼働率が低下している。そのため、当社に毎月一定量を発注していた製品すべてにおいて、発注量が減少している。在庫が増加しており、製造現場では残業がほとんどなくなっている。
	金属製品製造業（従業員）	競争相手の様子	・原材料価格の高騰と仕事量の減少によって、同業者の廃業、倒産が相次いでいる。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・補助部品の受注量は若干増加しているが、本体製品の受注量が減少している。全体の受注量は、やや減少している。
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・5、6月と比べて、大手からの注文が大幅に減少している。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の業界は相変わらず悪く、受注量は減少している。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・米国の景気後退による影響が広がっており、受注の減少が始まっている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・取引先では、倒産が増加している。
	輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注量が、徐々に減少している。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・米国経済が停滞しており、国内でも車は売れていないため、受注量は減少している。
	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・受注量は、前年を下回っている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・国際航空貨物の取扱量は、減少している。
	輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・自動車製造業に納品する大型製品の貨物量が、大幅に減少している。
	輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・飲食店への配達量が、減少している。
	通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・客の設備投資の動きが、縮小している。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先では、原材料価格の高騰により、収益面で大きな影響を受けている。設備投資に対しても慎重になっている。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・原材料価格の高止まりに伴う販売価格への転嫁によって、売上が減少し利益にも影響が出始めている企業が散見される。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告量は、前年同月比で10%近くも減少している。また、新聞購読の中止も出てきている。
	経営コンサルタント	競争相手の様子	・建築確認申請の手続きが複雑になり、時間が掛かる。自転車操業をしていた企業の倒産が増加しており、銀行からの融資も厳しくなっている。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・8月決算の小売業者の業績は、中小小売店を中心に、良くない状況である。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・同業他社では、売上が前年同月比で2割ほど減少しており、過去最低となっている企業もある。

悪く なっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先では、北米向けの部品輸出が減少している。それに伴い、段ボールの使用量も減少している。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東濃地域のタイル、食器を中心とする陶業界は、依然として不況の底にあり、開店休業状態である。	
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車、工作機械関連が、輸出の減少によって最悪の状態にあり、受注量は前月比で10%以上減少している。建設関連では、3～4割減となっている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が減少している。加えて、原材料、燃料の価格高騰分を販売価格に転嫁できていないことから、収益も悪化している。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設業、不動産業では、建設受注、住宅販売共に、悪化している。建築確認申請の遅れや原材料価格の高騰に加えて、住宅の購入意欲も低調になり、かなり厳しい状態にある。	
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連業界では、減産が計画されている。そのため、トラック運行のキャンセルが出始めている。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年に比べて、輸送物量は全体的に数%減少している。	
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・早期売却や融資付きの物件が、減少している。	
	不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・住宅が売れなくなり、モデルルームへの来場者数も目に見えて減少している。	
	広告代理店・新聞販売店〔広告〕	受注量や販売量の動き	・鉄道関連の広告媒体の売行きが、7月末ごろから前年同月比75%ほどと、極端に悪くなっている。	
	公認会計士	それ以外	・顧問先の企業の業績が悪化している。特に自動車製造業関連の下請企業の業績が悪化している。	
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・建設業を中心に、業績悪化が進んでいる。顧問先の企業からは、取引先の破産に伴う書類作成についての質問が何件もある。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	-	-	
やや悪く なっている	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数の減少が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比で10.3%減少している。3か月前と比べると、2.6%の減少である。
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・開発予算の抑制が進んでおり、技術者派遣への需要も減少している。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数は全般的に減少しており、これまで人材不足であったIT関連でも、求人数は減少しつつある。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣社員に対する需要は、少しずつ減少している。新規の注文は、前年同月比で20%近く落ち込んでいる。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣社員に対する需要は、半減している。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・自動車の減産計画を受けて、関連企業では経費削減の動きが本格化している。労務費の削減により、派遣人員の削減も進められている。それに伴い、求人数は顕著に減少している。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・人件費の削減のため、10月以降の派遣契約を更新しない企業が目立つ。契約更新する企業でも、残業時間を抑制する動きが目立っている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	雇用形態の様子	・派遣、請負への注文が減少してきている。また、大手企業では、派遣や請負から正社員に雇用形態を移行させる動きが、少しずつみられる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人広告量は、前年同月比60%台まで落ち込んでいる。自動車製造業関連からの募集も、止まっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の前年同月比は、ここ数か月間はプラスで推移していたが、今月に入りマイナスに転じている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は、前年同月比で増加している。また、雇用保険の手続き者も増加している。
	職業安定所（管理担当）	求人数の動き	・有効求人倍率が低下しており、厳しい情勢にある。	

	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は、業種を問わず、3か月前と比べて1割強も減少している。
悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集担当）	求人数の動き	・求人数は、明らかに減少している。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・自動車製造業関連の求人減少は継続しているだけでなく、一段と悪化している。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・高卒見込み者に対する求人数はあまり減少していないが、大卒見込み者に対する求人数は、前年同月比で3～4割減少している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・これまであまり減少していなかったパート求人も、減少が顕著になってきている。